

資料 6
自己免疫性てんかんにおける診断アルゴリズムの提唱

最初に病歴・臨床症候，次に検査成績と、2段階で自己免疫性てんかんを診断するアルゴリズムを作成し(臨床神経 2018;58:609-616)、検証した。

